

令和3年12月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 285(2021年12月)

■クラウドファンディング支援者様対象 松竹大谷図書館見学会ご報告

事務局 武藤祥子

本年9月7日～10月27日に行った「[【第10弾】歌舞伎や映画、フィルムがないだ記憶を遺す。](#)」プロジェクトで、5万円のご支援を頂いた方を対象として、11月25日にお礼の見学会を開催致しました。例年、クラウドファンディング(以下「CF」)のリターンの見学会では、ほとんどの時間を目玉である閉架式書庫の御案内に費やしておりましたが、書庫内の電動移動書架の間の通路が狭く、支援者の方をご案内すると密になってしまう状況が避けられないため、新型コロナウイルス感染防止を鑑み、昨年同様今年も書庫のご案内は行いませんでした。代わりに閲覧室で、松竹大谷図書館の概要やこれまで10回行ってきたCFのご説明スライドの上映、デジタル化や保存を行った資料の展示とその説明、そして後半は歌舞伎記録映画の上映を行いました。見学会は、10時～11時半、12時半～14時、15時～16時半の3回行い、それぞれ1名、2名、3名、と全回合わせて6名の方にご参加頂きました。これまでのCFのお礼の見学会は、最高1日2回の開催で、年によっては1回のみという事もありましたが、今年は初めて1日で3回の見学会を開催する事が出来ました。(なお、見学会当日にご参加頂けなかった方には、当館の所蔵資料や歌舞伎の記録映像について1時間程度ご説明する図書館員によるガイダンス(予約制)への参加券を、お礼の文庫本カバーと共にお送り致しましたので、ぜひご予約のうえご参加下さい。)

見学会の構成は回によって多少順番が入れ替わりましたが、3回とも全て同じ内容で、まず閲覧室の所蔵資料ミニ展示をご覧頂きました。現在開催中の11-12月の展示は「篠田正浩

監督生誕90年」展です。今回の[【第10弾】](#)のお礼(リターン)の文庫本カバーのデザインに使用した『夜叉ヶ池』(1979年)とは異なるデザインの準備稿台本を含む篠田正浩監督作品の資料を展示したものです。

続いて、閲覧室の机の上に展示した、これまでの[【第2弾】](#)から[【第9弾】](#)のCFでデジタル化や保存を行った資料についてご説明をしました。昨年の見学会では[【第7弾】](#)で補修とデジタル化を行った『音貞アルバム』までを展示しましたが、本年はデジタル撮影を終え、[立命館大学アート・リサーチセンター\(ARC\)](#)から返却された[【第8弾】](#)の「歌舞伎ブロマイド」が保存箱に収納された状態で、そして同じくARCから返却された[【第9弾】](#)の「歌舞伎座戦前絵本番付・筋書」が、ちょうどサンプルの保存箱が届いた所で、それぞれお披露目をする事が出来ました。現在、両プロジェクト共に、デジタルアーカイブのWeb公開に向けて、メタデータの入力作業の推進中です。

またその他に、映画資料からは『夜叉ヶ池』(1979年)の台本、ポスター、プログラム、スチール、ロビーカード、スクラップ、そして歌舞伎の資料からは昭和60年3月歌舞伎座上演の『桜姫東文章』の台本、ポスター、筋書、スチール、舞台面(大道具を記録した横長の写真)を展示してご覧頂きました。この2つは、お礼(リターン)の文庫本カバーのデザインに使用した作品です。当館では特に松竹の映画作品や歌舞伎の幕内資料について、松竹から寄贈を受け豊富に所蔵している事から、1つの作品についての関連資料を網羅的に所蔵しているのが特徴です。その特徴を説明する資料として、数種類あるポスターなどをご覧頂きました。

次にスライド上映で、松竹大谷図書館の概要や当館がCFを始めたきっかけ、これまでのCFのまとめをスライドでご説明しました。2011年に公益財団法人に移行した当館は、以前より赤字決算が続いていた事から、移行申請の際に監督官庁である東京都から収益状況の改善について指摘を受けました。そのため、HPに寄付金募集のページを作る事になり、その事がきっかけでREADYFORを紹介され、2012年より毎年運営費への支援を呼び掛けるCFに取り組むようになりました。2013年

目次:

クラウドファンディング支援者様対象 松竹大谷図書館見学会ご報告	1-2
資料提供	3
新着資料案内	3
新規登録資料案内	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	3
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
年末年始休館のお知らせ	4
利用案内	4

度の【第2弾】以降は、運営費だけでなく、資料の保存・デジタル化のための費用も募集し、資金が乏しい当館でも、資料のデジタル化とアーカイブのWeb公開が可能となりました。このことから、CFの成果が利用者・支援者へのサービス向上につながる流れが出来ましたが、スライドでは、これまでのCFのお礼(リターン)の文庫本カバーのデザインや、デジタル化を行った資料の説明をご覧頂きました。

そして、最後は歌舞伎記録映画の上映会です。まずは、前回【第9弾】の見学会でも上映しました、昭和24(1949)年10月26日に大阪歌舞伎座で撮影された、二代目實川延若の歌舞伎記録映画『楼門五三桐』をご覧頂きました。こちらは前回大変好評だったのですが、残念ながら前回の見学会のご出席が大変少なかったため、今回再度の登場となりました。

そして次に、明治32(1899)年11月に撮影された『紅葉狩』を上映しました。日本人が撮影した現存する最古の日本映画とされるこの『紅葉狩』は、九代目市川團十郎と五代目尾上菊五郎という明治の歌舞伎界を代表する俳優の舞台が記録されている点で、映画史的にも演劇史的にも大変貴重な映像です。今回は、松竹大谷図書館で管理している「大谷家版」と「谷版」の上映、そして比較のためWebで公開されている、国立映画アーカイブ所蔵の「日活版」のご説明をしました。

「大谷家版」は全体が約12分で、うち舞踊部分が約4分の映像です。昭和25(1950)年に、九代目團十郎の肖像画が文化人切手のシリーズとして発行されたのを記念して編集されたもので、冒頭には戦後昭和25(1950)年に撮影された口上部分が付いており、この当時日本橋三越本店で開催された九代目團十郎の展示会の様子なども映っています。

「谷版」は個人の方から(株)伝統文化放送を通じて寄贈されたフィルムです。【第10弾】プロジェクトで状態調査

及び内容調査を行うフィルムに3本が含まれており、今回は、その内の1本を以前国立映画アーカイブ(当時フィルムセンター)がスキャンしたものを頂いたカウント入りの映像をご覧頂きました。舞踊部分のみで約4分30秒の映像です。「大谷家版」と比較して、後ジテの鬼女と平維茂の映像が長い、などの差異が見られます。

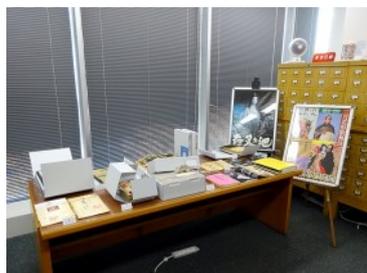
国立映画アーカイブが所蔵する「日活版」は、平成18(2006)年に日活株式会社より国立映画アーカイブ(当時フィルムセンター)に寄贈された可燃性デュープネガ・フィルム(1927年製35mm、342フィート13コマ)です。平成21(2009)年には、映画フィルムとして初めて重要文化財に指定されました。明治32(1899)年に撮影された映像が昭和2(1927)年に製造された可燃性ネガフィルムに焼き付けられたもので、ほぼ欠落のない形で現存する版といわれています。冒頭のタイトルは日活が加えたもので、舞踊部分は「谷版」とほぼ同じ内容ですが、後ジテの部分が長く、最後に鬼女の毛振りがついています。下記URLから映像を見る事が出来ます。

▼映像でみる明治の日本 公式HP内「紅葉狩」

<https://meiji.filmarchives.jp/works/01.html>

今回の【第10弾】も、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響が残る厳しい状況下での実行となりましたが、目標額を超えるご支援を頂き、お礼の見学会を無事開催する事が出来ました。感染対策を取りながらも、支援者の方に直接お会いする事が出来、そして、これまでのプロジェクトの成果をご報告出来た事は、スタッフにとって、この上の無い喜びとなりました。今後いつまでこの状況が続くかは難しい問題ですが、皆様からのご支援と応援を力にして、皆様の役に立つ事業を進めてまいります。

《見学会当日の写真》



机上展示



閲覧室展示「篠田正浩監督生誕90年展」のご説明



「歌舞伎プロマイド」保存箱のご説明



映画『夜叉ヶ池』ポスターのご説明



映画『夜叉ヶ池』ロビーカードとステール写真のご説明



『楼門五三桐』の上映



『紅葉狩』「大谷家版」の上映



『紅葉狩』「谷版」の上映

資料提供 (2021年10~11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

[展示] 「名人 小島与一展〜魂をうつされた博多人形たち〜」2021年10月1日~11月23日「博多町家」ふるさと館 『勸進帳』スチール写真を提供/2021年度秋季企画展「新派 SHIMPA—アヴァンギャルド演劇の水脈」2021年10月11日~2022年1月23日早稲田大学演劇博物館 『大海嘯見聞実況』辻番付を提供

[出版] 『歌舞伎特選DVDコレクション第57号』2021年10月20日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「日本戯曲全集」を提供/谷川建司『近衛十四郎十番勝負』2021年10月31日雄山閣 『まだら頭巾剣を抜けば 乱れ白菊』ポスターを提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第59号』2021年11月17日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に『忠臣蔵』の写真絵葉書を提供

[プログラム掲載] 「坂東玉三郎特別公演」2021年10月御園座 『椿説弓張月』『番町皿屋敷』スチール写真を提供

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系11月演劇公演資料		○…受入済			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『神の鳥』	○			
	『井伊大老』	○			
	『寿曾我対面』	○		○	○
	『連獅子』	○			
	『花鏡忠臣顔見勢』	○			
新橋演舞場	『虎者NINJAPAN 2021』			○	○
南座	『南座秋の舞台体験ツアー』				
松竹座	『お家さんと直どん』	○		○	○
	『お祭り提灯』	○			
赤坂ACTシアター	『廓新山名屋浦里』	○			
	『越後獅子』			○	
	『宵赤坂俄廓景色』	○			

◆他社演劇公演資料 (9-11月) (順不同) Serial number 『すこたん!』中野ザ・ポケットプログラム/名取事務所『灯に佇む』下北沢小劇場B1プログラム、台本/名取事務所『女は泣かない』下北沢小劇場B1プログラム、台本/扉座『扉座版二代目はクリスチャン』すみだパークシアター倉プログラム/『ハロルドとモード』EXシアター六本木プログラム/『シアターX名作劇場—〇〇本記念公演』シアターXプログラム/前進座『一万石の恋』地方巡業プログラム、台本/トム・プロジェクトプロデュース『にんげん日記』紀伊國屋ホールプログラム/劇団1980『いちばん小さな町』俳優座劇場プログラム/プレオム劇プロデュース『脚光を浴びない女』ザ・スズナリプログラム/鬼の居ぬ間に『Jeanne』下北沢『劇』小劇場プログラム/ala『紙屋悦子の青春』吉祥寺シアタープログラム/ウォーキング・スタッフプロデュース『手の平』シアタートップスプログラム/劇団た組『ぼに』神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/TPT『ミザントロップ孤客もしくは怒りっぽい恋人』すみだパークギャラリーSASAYAプログラム/『国立劇場第197回邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム/『国立劇場第198回邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム/バルコ・プロデュース『ザ・ドクター』PARCO劇場プログラム/ASPイッツフォーリーズ『ミュージカル颯々』オルタナティブシアタープログラム、台本/『第三回富山清仁地歌華演奏会』紀尾井小ホールプログラム/『日本舞踊五耀會特別公演』国立劇場小劇場プログラム/劇団民藝『集金旅行』俳優座劇場プログラム、台本/『第二回みよしや一門会』大槻能楽堂プログラム/『国立劇場11月歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム/新派の子『糸桜 黙阿弥家の人々 ふたたび』日本橋劇場プログラム、台本/『本日も休診』明治座台本/『DREAM BOYS2021』帝国劇場プログラム/ブロードウェイミュージカル

『ニュージーズ』日生劇場プログラム/ミュージカル『ナイト・テイル』帝国劇場プログラム/『ホーム、アイムダーリン 愛しのマイホーム』シアタークリエイプログラム/『マイ・フェア・レディ』帝国劇場プログラム/劇団☆新感線『狐晴明九尾符』赤坂ACTシアタープログラム

◆映画資料 (順不同) 『ARASHI Anniversary Tour 5×20 FILM Record of Memories』プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『皮膚を売った男』『マリグナント 狂暴な悪夢』『聖地X』『第34回東京国際映画祭公式プログラム』『ハリリー・ポッターと賢者の石』『ユダヤ人の私』『悪なき殺人』『アイズ・ロード』『リスペクト』『アンテベラム』『エターナルズ』『劇場版 きのう食べた?』『カオス・ウォーキング』『モスル あるSWAT部隊の戦い』『土竜の唄 FINAL』『ディア・エヴァン・ハンセン』『ダ・ヴィンチは誰に微笑む』『ミラベルと魔法だらけの家』『梅切らぬバカ』

◆演劇雑誌 (順不同) 『AAC』Vol.110/『Bunkamura magazine』No.194, No.195/『Confetti』2021年December/『DRAMAかながわ』84号/『SETAGAYA ARTS PRESS せたがやアーツプレス』Vol.19/『SePT 倶楽部 information』2021年11月号/『act guide [アクトガイド]』2021 Season 9/『omoshii PRESS オモシイ・プレス』Vol.16/『あぜくら』2021年11月号/『えんぶ』2021年12月号/『おもだかニューズ』557号-562号/『こてん』24号/『ほうおう』2022年1月号/『みんなとブーク』No.267-No.277/『ステージぴあ』2021年11+12月号/『テアトロ』2021年12月号/『ミュージカル』2021年11月-12月号/『ラ・アルプ』2021年12月号/『演劇界』2022年1月号, 2022歌舞伎俳優カレンダー/『歌舞伎 研究と批評』66号/『喝采』2022年2月/『劇団青年座』2020春・夏合併号, 2020秋号, 2021新春号, 2021春号, 2021夏号, 2021秋号/『月刊前進座』782号-792号/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol.44/『国立演芸場公演ガイド』令和3年12月号/『人形劇のひろば』129号-136号/『大向う』令和3年12月号/『銅鑼ニュース』114号-121号/『日本芸術文化振興会ニュース』2021年12月号/『日本照明家協会誌』2021年11月号/『日本舞踊』73巻12月号/『民藝の仲間』719号-735号

◆映画雑誌 (順不同) 『NFAJプログラム』No.32/『SCREEN』2022年1月号, スター&監督大名鑑2022/『TVガイド』2021年11/12号, 11/19号, 11/26号/『おとなのデジタルTVナビ』2022年1月号/『キネマ旬報』2021年12月上旬号, 12月下旬号/『シナリオ』2022年1月号/『シナリオ教室』2021年12月号/『ドラマ』2021年12月号/『ロケーションジャパン』2021年12月号/『映画テレビ技術』2021年12月号/『映画芸術』477号/『映画時報』2021年11月号/『映画論叢』58号/『松竹[社報]』226号/『東映キネマ旬報』特別号(2021年秋号)/『日経エンタテインメント!』2021年12月号/『日本映画テレビプロデューサー協会報』No.478-No.492/『文化通信ジャーナル』2021年12月号/『民間放送』2165号-2192号

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『七世竹本住大夫 限りなき藝の道』『高安月郊研究 明治期京阪演劇の革新者』『歌舞伎 (日本の伝統芸能を楽しむ)』『歌舞伎に行こう! 手とり足とり、初めから』『歌舞伎キャラクター絵図 厳選53演目の見方・楽しみ方 新版』『バイリンガルで楽しむ歌舞伎図鑑』『歌舞伎さんぽ』『歌舞伎の歴史 新しい視点と展望』『歌舞伎と革命ロシア 一九二八年左団次一座訪ソ公演と日露演劇交流』『天才と名人 中村勘三郎と坂東三津五郎』『映画と本の意外な関係!』『銀幕のキノコ雲 映画

はいかに「原子力/核」を描いてきたか』『昭和』の子役 もうひとつの日本映画史』『映画広告図案土権垣紀六洋画デザインの軌跡 題字・ポスター・チラシ・新聞広告集成』『戦時下の映画 日本・東アジア・ドイツ』『帝キネ伝 実録日本映画史』『満映とわたし』『テレビ成長期の日本映画 メディア間交渉のなかのドラマ』『昭和浅草映画地図』『大阪「映画」事始め』『コリアン・シネマ 北朝鮮・韓国・トランスナショナル』『三船敏郎の映画史』

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ持続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）令和3[2021]年11月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（50音順・敬称略）

井本剛司
小野温代

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》（※2021年11月1日改定）

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日（※休館日を除く）までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご予約は、お席に空きがあった場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03（5550）1694（平日10時～17時）
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、1時間ごとに最大3時間までご予約頂けます。
- ★ご予約の際、お名前、人数、ご希望日時、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★一日のご利用冊数は、18冊まででお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/211101.html>

令和3年12月25日（土）より
令和4年1月10日（月）まで
令和4年1月11日（火）より開館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>